



2026年、新年のお慶びを申し上げます



親愛なる友人の皆様、2026年、明けまして心よりお慶び申し上げます。
昨年に60周年を迎えた日ロ交流協会は、今、文化、教育、科学及び地域交流などの分野におけるロシアと日本の関係の着実な発展に大きく貢献している有力な組織であります。

貴協会を創立者が掲げた眞の友情及び善隣関係といった理念に沿って、二国間の様々な分野におけるコミュニケーションの維持と拡大に向けたたゆまぬ努力を重ねてきた協会会員の皆様に感謝申し上げます。

この理念は日本との関係構築に対する我々のアプローチの基礎であり、政治情勢の変化を問わず揺るぎない相互関心を抱く両国民の交流を維持するための取り組みの出発点となっています。

本年は、ロシアと日本の平和と繁栄のために輝かしい成果をもたらす年として記憶に残るよう願っております。協会会員の皆様のご健康、ご多幸、新たなご成功を心よりお祈り申し上げます。

駐日ロシア連邦特命全権大使 ニコライ・ノズドリエフ

拝啓、日露交流協会の会員の皆様に、来る2026年の新年をお祝い申し上げます。

私たちの社会は長年にわたる強い絆によって結ばれており、さまざまな状況や障害にもかかわらず、共に長く輝かしい道を歩んできました。私たちは、両国間の良好な信頼関係の強化を目的とした実りある協力が今後も続くことを、そして、困難で崇高な道の中で素晴らしい取り組みが成功することを願っております！

露日協会アルタイ支部長ビヤチェスラフ・ノボセロフ

NPO法人日ロ交流協会の会員の皆様並びに関係の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
昨年は、会員並びに関係の皆様のご支援、ご協力を賜り「日ロ交流協会創立60周年記念パーティー」を在日ロシア連邦大使館のご協力を得て、約200名の参加者で盛大にお祝いすることができました。心より御礼申し上げます。

当協会は永年の歴史を踏まえ、これからも70周年、100周年を目指し、日本とロシア市民同士の草の根的な活動を大切に心が通う交流で益々発展していくことを強く願っております。

日ロ交流協会は政治、外交などには関わらない方針の基、日本とロシアの一般市民間では草の根的な交流を銳意進めておりますが、昨年は引き続き社会情勢が厳しい事から、在日ロシア人等との交流活動が主となりました。

ロシア等の家族参加の交流バスツアー、着物体験、いけばな教室、日本・ロシア・キルギス各国の料理講習会、手書き友禅教室、「麻布区民センターふれあいまつり」にロシアの子供達の歌と踊り「ロシアンカ」の参加協力、板橋の花火大会など多くの日ロ交流イベント活動ができました。

現在、日本とロシア間では航空便は運休の上、日本ではロシアへの渡航も自粛が求められております。従ってロシアに行く日本人はビジネス関係等の少人数の方々です。

しかしロシア関係の日本への観光客は、昨年（2025年）1月から8月の累計によりますと既に10万8千人となり、日本が大好きなロシア人が多いことです。

厳しい日本とロシア情勢におきましても、このような状況から分かるように政治や外交問題に関わらず両国の市民間では交流を大切にしており、引き続き文化や人的交流を深めていきたいと思っております。

本年も当協会へのご理解、ご支援・ご協力を願い申し上げますと共に、平和な世界と皆様の幸多い年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

NPO日ロ交流協会会长 服部文男

